

# 姫路市雨水管理総合計画 概要版

## 1 背景と目的

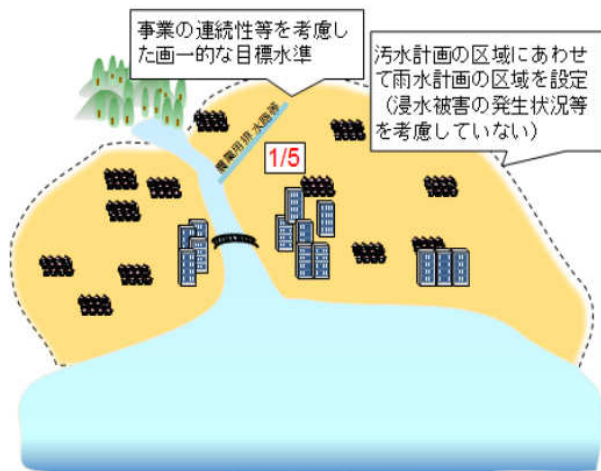
近年、気候変動の影響とみられる風水害が全国各地で発生しています。同様に姫路市においても平成23年9月の台風12号をはじめとする大きな降雨がほぼ毎年発生し、市内各地で浸水被害が起こっています。

本市では、これまで全市一律の整備目標により、過去に大きな浸水被害のあった地区から整備を実施してきました。しかし、浸水対策事業は実施期間が長く、事業費も膨大であることに加え、今後は気候変動の影響により、更に浸水被害が拡大することが想定されます。そのため、計画的、効果的に事業を推進することを目的に、浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準等の基本的な事項を定める「雨水管理総合計画」を策定します。

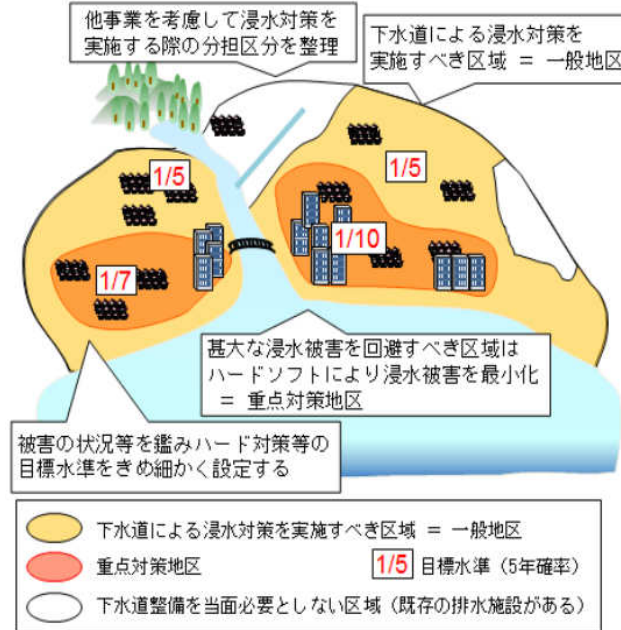


浸水状況写真 (H23.9.4、広畑区)

### ◆これまで



### ◆これから



出典：「雨水管理総合計画ガイドライン（案）」（令和3年11月、国土交通省）P38

雨水管理総合計画による整備目標のイメージ

## 2 重点対策地区と一般地区

計画的、効果的な事業の推進にあたり、「事前防災・減災」「選択と集中」等の観点を取り入れ、優先的に実施すべき地区（＝重点対策地区）からメリハリを付けた整備を進めていきます。

浸水シミュレーションに基づく「浸水想定面積」と「浸水被害額」の2つの指標から、浸水リスクの高い重点対策地区と一般地区に分類します。

重点対策地区の対象排水区を雨水管理方針マップ（裏面）に示します。

## 3 計画降雨と整備目標

計画降雨とは、浸水被害の発生を防止するため、浸水対策施設の整備目標として定める降雨です。

気候変動の影響に伴う降雨量の増加を考慮し、重点対策地区、一般地区それぞれに浸水対策の整備目標となる計画降雨を設定します。気候変動の影響を考慮した計画降雨は、「雨水管理総合計画ガイドライン（案）」（令和3年11月、国土交通省）を参考に、現計画降雨に降雨量変化倍率（1.10）を乗じた降雨とします。

各地区における計画降雨

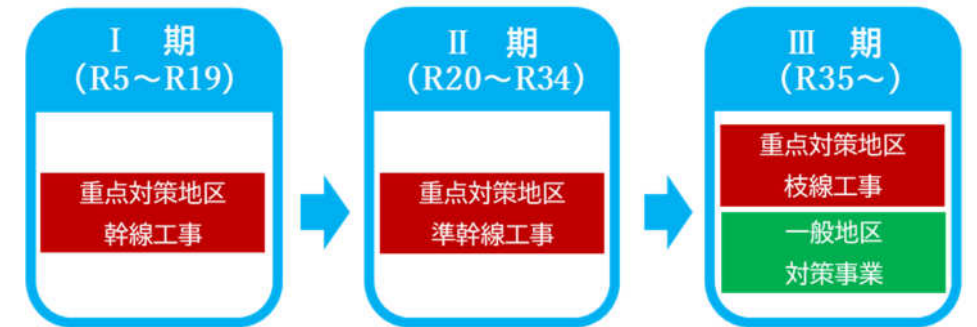
	計画降雨		
	確率年	現降雨強度	気候変動考慮後
重点対策地区	10年確率降雨	49.5mm/h	54.4mm/h
一般地区	6年確率降雨	45.1mm/h	49.5mm/h

×1.10倍

## 4 段階的対策方針

事業の整備時期はⅠ期～Ⅲ期までの3段階に分け、各段階に応じた対策方針を左図のとおり定めます。

浸水対策の事業の大きさや投資可能額を考慮し、それぞれの計画期間は15年間としています。また、それぞれの期間終了時には整備効果や社会情勢の変化等を精査し、効果検証を行います。



段階的対策方針

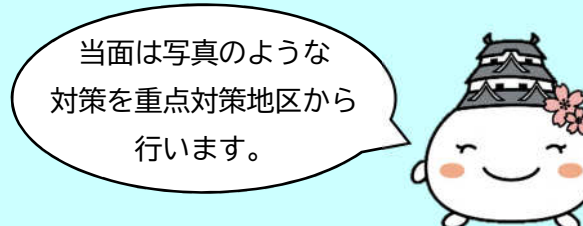
## 5 Ⅰ期事業の対策（当面の対策）

Ⅰ期事業は、重点対策地区での局所的な浸水解消が目的です。更に、「再度災害防止」の観点から既に着手済みの事業は継続事業として対象に含めます。なお、Ⅰ期の期間中に気候変動の影響等に起因し新たな浸水被害が生じた際には浸水実績等を評価し、社会情勢の変化等も踏まえ、必要に応じて整備方針や計画を見直します。また、浸水被害軽減のため、河川部局等と連携し、既存施設等の活用も図りながら浸水対策を進めていきます。

Ⅰ期対象事業の概略スケジュールを右表、Ⅰ期対策事業箇所を表す雨水管理方針マップ及び浸水対策の施設例を裏面に示します。

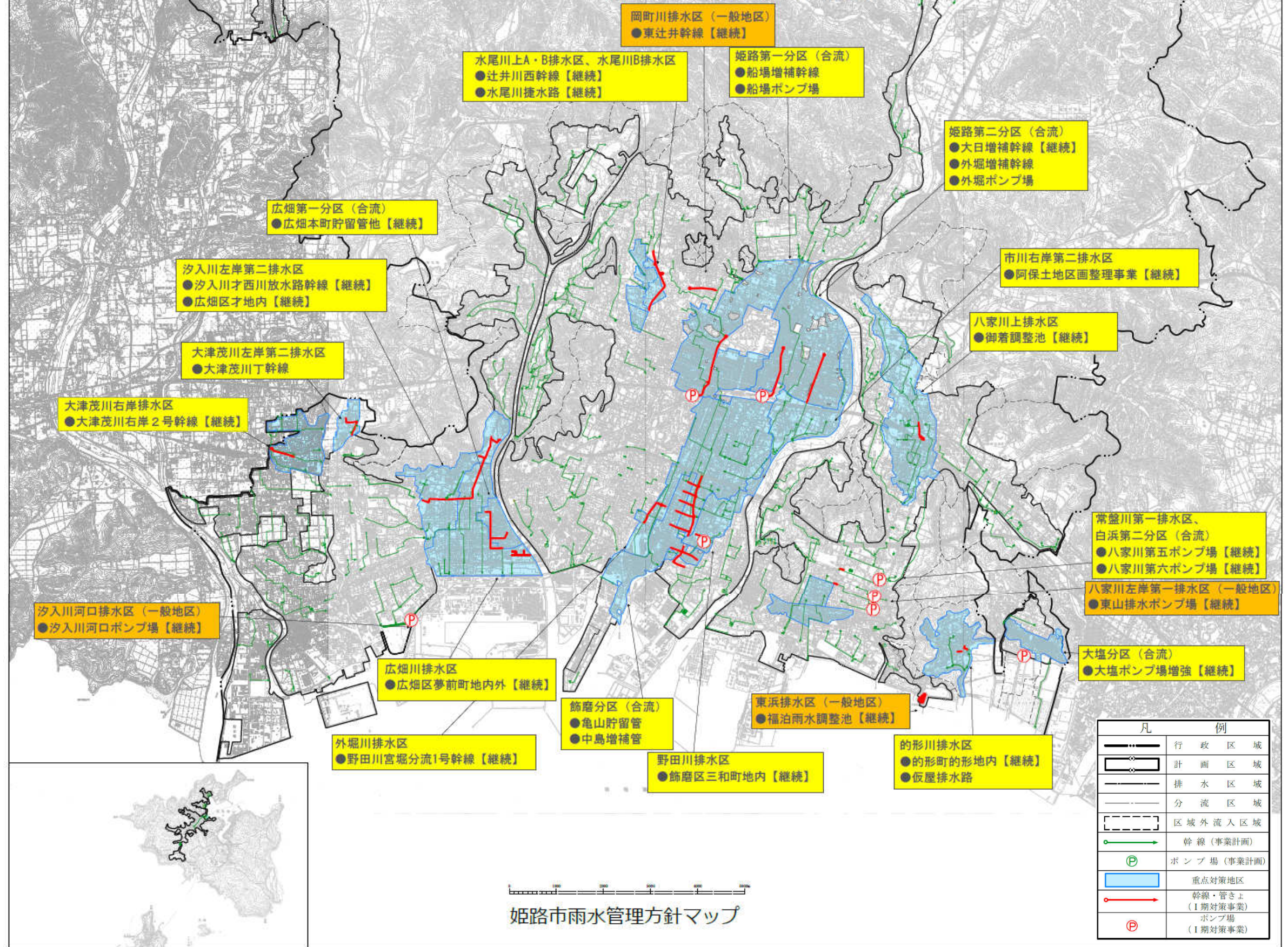
Ⅰ期対象事業の概略スケジュール

排水区・分区	事業内容	Ⅰ期事業期間 (R5~R19)
姫路第一分区 (合流)	船場増補幹線 船場ポンプ場	=====
姫路第二分区 (合流)	大日増補幹線 (継続) 外堀増補幹線 外堀ポンプ場	=====
飾磨分区 (合流)	中島増補管 亀山貯留管	=====
汐入川左岸第二排水区	汐入川才西川放水路幹線 (継続) 広畑区才地内 (継続)	=====
大塩分区 (合流)	大塩ポンプ場増設 (継続)	=====
広畑第一分区 (合流)	広畑本町貯留管他 (継続)	=====
外堀川排水区	野田川宮堀分流1号幹線 (継続)	=====
水尾川上A排水区 水尾川上B排水区 水尾川B排水区	水尾川捷水路 (継続) 辻井川西幹線 (継続)	=====
的形川排水区	的形町の形地内 (継続) 仮屋排水路	=====
市川右岸第二排水区	阿保土地区画整理事業 (継続)	=====
野田川排水区	飾磨区三和町地内 (継続)	=====
大津茂川右岸排水区	大津茂川右岸2号幹線 (継続)	=====
大津茂川左岸第二排水区	大津茂川丁幹線	=====
白浜第二分区 (合流) 常盤川第一排水区	八家川第五ポンプ場 (継続) 八家川第六ポンプ場 (継続)	=====
八家川上排水区	御着調整池 (継続)	=====
広畑川排水区	広畑区夢前町地内外 (継続)	=====



雨水管理方針マップ  
～ I 期（当面）の対策～

計画段階	計画期間	対象地区	整備目標	対策概要
I 期	R5～19年度	重点対策地区	1/10降雨:54.4mm/h (気候変動を考慮した計画降雨) ※継続事業は現計画降雨の49.5mm/h	局所的な浸水被害の解消に寄与する雨水幹線や雨水ポンプ場などの整備。
II 期	R20～34年度	重点対策地区	1/10降雨:54.4mm/h (気候変動を考慮した計画降雨)	雨水幹線に放流する準幹線、雨水ポンプ場などの整備*。 ※ただし、I 期の整備効果の検証や気候変動の状況、更には I 期期間中に発生した新たな浸水実績等を踏まえて見直す。
III 期	R35年度～	重点対策地区	1/10降雨:54.4mm/h (気候変動を考慮した計画降雨)	枝線となる雨水管などの整備*。 ※ただし、I 期、II 期の整備効果の検証や気候変動の状況、更には I 期～II 期期間中に発生した新たな浸水実績等を踏まえて見直す。
		一般地区	1/6降雨:49.5mm/h (気候変動を考慮した計画降雨)	雨水幹線や雨水ポンプ場、枝線となる雨水管などの整備*。 ※ただし、I 期、II 期の整備効果の検証や気候変動の状況、更には I 期～II 期期間中に発生した新たな浸水実績等を踏まえて見直す。



※一般地区でも着手済みの事業は継続事業として整備を進める。